

平成 21 年 11 月 11 日

新型インフルエンザ対策推進本部事務局

(医薬食品局安全対策課)

課長 ; 森(内 2747)

安全使用推進室長 ; 佐藤(内 2755)

電 話 ; 03(5253)1111(内 2749)

夜間直通 ; 03(3595)2435

報道関係者 各位

新型インフルエンザワクチン の接種後副反応報告及び推定接種者数について

【報告のポイント】

- 平成21年10月30日(金)から11月9日(月)までに入手した新型インフルエンザワクチン接種後の副反応の報告状況をとりまとめましたので公表します。
- 副反応の内容は季節性ワクチンと同様で、前回の報告と同じ傾向であり特段の変化はありません。
 - 初期 2 万例コホート調査における重篤な副反応報告(速報)は1人(報告全体35人)
 - 医療機関からの副反応の自発報告では、重篤な副反応は26例(報告全体354例)
- 接種開始第2週及び第3週(10月26日~11月8日)の医療機関納入数量は、123万人分であり、推定接種者数は最大123万人と考えられます。
- 同期間の推定接種者数における副反応報告の頻度は、0.023%、うち重篤症例は0.0019%と計算されました。
- 接種医療機関の協力をいただき、積極的に報告いただいていることから、副反応報告の頻度は例年の季節性インフルエンザワクチンよりも高いものと考えられます。

【注意点】副反応は時間が経ってから報告される事例があることや、実際の接種者数は医療機関納入数量に基づく推定接種者数を下回ること等から、現時点での頻度は暫定的な数字にならざるを得ず、時間とともに変化することに留意が必要である。医療機関での正確な接種者数は1月単位で集計し、それに基づく副反応報告頻度を公表する予定。